



# 滝野東小学校だより

令和6年10月29日

## 学校オープンありがとうございました

10月19日(土)に学校オープンを行いました。当日は、雨が降り、足元の悪い中、保護者の皆様、地域の皆様に多数ご参観いただきました。ありがとうございました。2・4・6年生の親子学習、学級懇談会も実施し、PTA学級委員の方には大変お世話になりました。親子学習では、親子での共同活動や親子の触れ合いを意識した取組を実施しました。また、6年生の保護者の皆様対象の修学旅行説明会も行いました。

## バザー集会で思ったこと ～行事のねうちとは～

10月25日(金)に児童会行事「バザー集会」を行いました。各クラスがお店を作り、前半と後半に分かれて、お客さんになったり、店番をしたりしました。どのクラスも工夫を凝らしたお店でした。いつも以上に子どもたちの生き生きとしている姿が見られました。なぜ、子どもたちは、こんなに生き生きとしていたのでしょうか。

私は、自分たちで考えたり決めたりすること(主体性)や、自分たちで決めたことだから自分たちですのだという思い(当事者意識)が、子どもたちの輝いた表情や生き生きとした姿を生んだのだと思います。そんな難しいことではなく遊びの延長のような活動だから楽しいのではないかと思われるかもしれませんが、しかし、本当の楽しさ、面白さというのは、ただ自由に遊べるということだけでないようにも思います。「最近の子どもは言われたことしかしない」「受け身の子どもが多い」という言葉を聞くこともありますが、もしかすると私たち大人が、自分たちで考えて、決めて、実行するという場を十分に与えていないのかもしれませんが。



自分たちで行事などに取り組んでいく中で、子どもたちの間で、様々なトラブルもあります。それは、他の友達と考えが違って自分の思い通りにいかなかったり、そのために感情的になったりするケースが多いようです。小学生ですから、自分の考えと他の友達など周りの考えの違いに折り合いをつけるということがあまりうまくありません。この周囲との折り合いの付け方(社会性)は、実際のトラブルや葛藤の

中でしか学べません。私たち大人が、大きなトラブルやいじめへ繋がらないかを見極めながらも、迷ったり、悲しんだり、葛藤したりしながら、折り合いの付け方を学んでいく子どもたちを見守り、支えていく必要があると思います。

「自分で考えて、決めて、実行する」「自分と周りとの違いに折り合いをつけながら協力する」これが、行事をすることのねうちではないかと子どもたちの姿から思いました。





## の行事予定

日(曜日)	内 容
3日(日)	北播小学生陸上記録会(三木防災公園)文化の日
4日(月)	振替休日
5日(火)	朝会
6日(水)	ふれあい班活動(昼休み) 一斉下校
7日(木)	委員会活動
8日(金)	5・6年生人権教育講演会(5・6時間目) 講師:小林祐梨子さん ※
11日(月)	児童鑑賞会(1・2時間目)
12日(火)	滝野中学校区特別支援学級交流会 朝会
13日(水)	一斉下校
14日(木)	クラブ活動
15日(金)	※
16日(土)	ふれあい音楽会 6年生制服採寸(15時)
18日(月)	振替休業日
19日(火)	朝会
20日(水)	1・2年生読み聞かせ 一斉下校
21日(木)	朝のマラソン練習開始(~12月11日)
22日(金)	修学旅行(1日目) ※
23日(土)	修学旅行(2日目) 勤労感謝の日
25日(月)	6年生振替休業日 1年生ふれあい活動(昔遊び)
26日(火)	朝会 6年生かとう夢授業(理科)
27日(水)	一斉下校
28日(木)	6年生ふるさと伝え隊講話(5時間目)

※例年、加東市文化祭「子ども美術作品展」に全校児童の作品を出品しています。今年度は工事等で展示場所が確保できない関係で「子ども美術作品展」はありません。

※毎週木曜日は「教職員定時退勤日」です。遅くとも午後6時には全教職員が退勤することとしています。